原著　←原稿類別（MS　Pゴシック、12pt）を四角で囲む。

**題名（MS明朝15pt強調）2行にわたる場合の2行目は**

**1行目よりも短く（英文タイトルも同様、行間は最小値0pt）**

**（副題は括弧内に（明朝12pt強調））**

著者 氏名 NameA、著者 氏名 NameB、著者 氏名 NameC、

（MS明朝12pt）姓と名の間には半角スペースを入れる。

A 所属(MS　明朝10pt)

Affiliation(Times New Roman 10pt)

B 所属(MS　明朝10pt)

Affiliation(Times New Roman 10pt)

C 所属(MS　明朝10pt)

Affiliation(Times New Roman 10pt)

**English Title** **(Times New Roman 15pt　強調)…………**

キーワード: キーワード１，キーワード２，キーワード３，キーワード４, キーワード５（MS明朝10.5pt）  
Key words: keyword1, keyword2, keyword3, keyword4, keyword5(Times New Roman 10.5pt)

抄　録(MS　Pゴシック12pt)

研究の目的は完結に記載してください．調査研究では対象者に関する情報を含めてください．質問紙調査では，使用した尺度，人数，回収率を述べてください．考察では，結果の解釈など本研究結果から明らかになったことを記載し，直接的に述べることのできない著者の意見は控えてください．

和文抄録の1行は全角40字相当とし、全文字数は全角換算で500字以上600字以内とし、本文の書式設定は，全角23字×43行×2段 としてください．

Abstract(Times New Roman 12pt)

English Abstract English Abstract English Abstract English Abstract English Abstract English Abstract English Abstract English Abstract English Abstract English Abstract　　(Times New Roman 10.5pt)

英文タイトル・英文キーワード、英文抄録（200語以上250語以内）は，原著・総説のみに付してください．原則として過去形で述べ, 句読点（全角とする）は「，．」としてください**．**

**この行の後に2行の空行を挿入**して、本文を書き始めてください。

※不自然に語間が間延びする場合、適宜、ハイフネーションを使用してください。（英文原稿でも同様。）

I. ．緒言（MS　Pゴシック14pt.）

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（本文はMS明朝10.5pt.）

II. 目的（MS　Pゴシック14pt.）

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（本文はMS明朝10.5pt.）

III. 方法（MS　Pゴシック14pt.）

1. 用語の定義（MS　Pゴシック12pt.）

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（本文はMS明朝10.5pt.）

2. 質問項目（MS　Pゴシック12pt.）

1) 属性（MS　Pゴシック12pt.）

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（本文はMS明朝10.5pt.）

2) 質問項目１（MS　Pゴシック12pt.）

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（本文はMS明朝10.5pt.）

3. 対象と調査方法（MS　Pゴシック12pt.）

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（本文はMS明朝10.5pt.）

4. 分析方法（MS　Pゴシック12pt.）

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（本文はMS明朝10.5pt.）

5. 倫理的配慮（MS　Pゴシック12pt.）

本研究は，●●●大学倫理委員会の承認を受けて実施した．調査への協力は自由意志にもとづき，回答しなくても不利益を受けることはないこと，結果は統計的に処理し個人が特定されることはないこと，調査票およびデータの管理は厳重に行うことを説明書に明記し，回答をもって同意とみなした．（本文はMS明朝10.5pt.）

IV. 結果

1. 回答者の属性（MS　Pゴシック12pt.）

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（本文はMS明朝10.5pt.）

2. 質問項目１（MS　Pゴシック12pt.）

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（本文はMS明朝10.5pt.）

V. 考察（MS　Pゴシック12pt.）

1. 考察１（MS　Pゴシック12pt.）

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（本文はMS明朝10.5pt.）

2. 考察２（MS　Pゴシック12pt.）

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（本文はMS明朝10.5pt.）

VI. 結論（MS　Pゴシック14pt.）

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（本文はMS明朝10.5pt.）

引用文献（MS　Pゴシック14pt.）

髙田誠 (2018). 看護管理者になぜリーダーシップが必要か、リーダーシップに必要な要素．看護のチカラ 23(492)，5-8.

‎Nagelkerk, J., Reick, K., & Meengs, L. (2006). Perceived barriers and effective strategies to diabetes self‐management. Journal of advanced nursing 54(2), 151-158.

山内豊明, 荒井有美 (2015). 医療安全：多職種でつくる患者安全を目指して. 東京：南江堂．

Huber, D. (2000). Leadership and nursing care management (2nd ed.). Philadelphia: W. B. Saunders.

厚生労働省 (2017). 平成30年度診療報酬改定の基本方針,(2018年8月31日アクセスhttp://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-12601000-Seisakutoukatsukan-Sanjikanshitsu\_Shakaihoshoutantou/0000187616.pdf)